

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz~90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (SN比: 30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N比: 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3 dB)	30 Hz~ 15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	≥ 80 dB (± 400 kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz~1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	96 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	45 W \times 4
定格出力 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD)	28 W \times 4
プリアウトレベル (CD)	1800 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	$\leq 600 \Omega$
音質調整	バス (100 Hz)
トレブル (10 kHz)	± 10 dB

電源部

電源電圧 (⊖アース)	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
重量	1.3 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。

KENWOOD

CDレシーバー

RX-470CD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日には休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

© B64-1545-00 (JM)

RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-470CD

この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる

SRCボタンを押す。

MEMO ▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。

A SRC ボタンを押し、すぐに手を離します。

A SRC ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

MEMO ▶ 本取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表示は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはあり得ない表示パターンが記載されることがあります。

CONTENTS

この取扱説明書の読み方

2

安全上のご注意

安全上のご注意

4

使用上のご注意

7

操作のしかた

ALL MODE

パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、モードチェンジ、ラウドネス

10

オーディオコントロール、時計表示、時計調整

12

トラフィックインフオメーション、トラフィックインフオメーションボリューム

14

CD MODE

CDプレイ、イジェクト、早送り/早戻し、トラックサーチ、リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイ

16

TUNER MODE

チューニング、チューニングモード、マニュアルメモリー、オートメモリー

18

取り付け上のご注意

20

接続のしかた

22

取り付けかた

24

故障かな?と思ったら

25

保証とアフターサービス

27

仕様一覧

28

ALL MODE
CD MODE
TUNER MODE

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

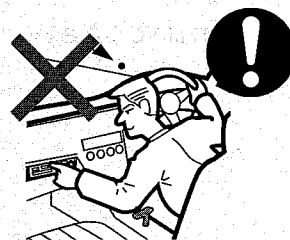
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。



警告

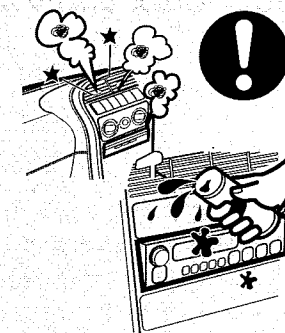


運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

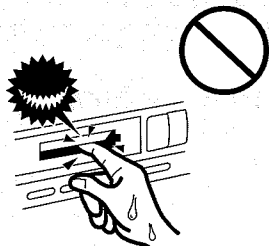
●音が出ない ●ディスプレイが表示されない
●異物が入った ●水がかかった
●煙が出る ●変な匂いがする

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠️ 注意



CD挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

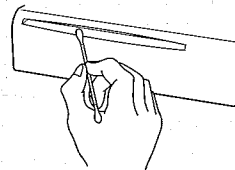
取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

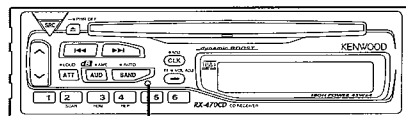
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

CD挿入口は、ホコリがたまりやすいので、綿棒などで時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入すると、CDにキズが付くことがあります。



セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下では、窓を閉めきった自動車内は非常に温度が高くなります。本機内部が60℃以上になると、保護回路により“HOLD”と表示され、CDの演奏ができなくなります。このようなときは、エアコンを作動させるか窓を開けて車内の温度を下げてください。しばらく待ち“HOLD”の表示が消えると演奏できるようになります。

使用上のご注意

CDの取り扱いについて

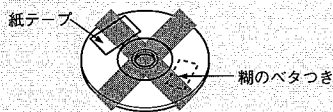
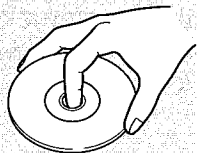
CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは、記録面に触れないようにしてください。

ラベルが印刷されていない面が、記録面です。

記録面はもちろんのこと、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



CDの保存

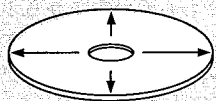
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れについて

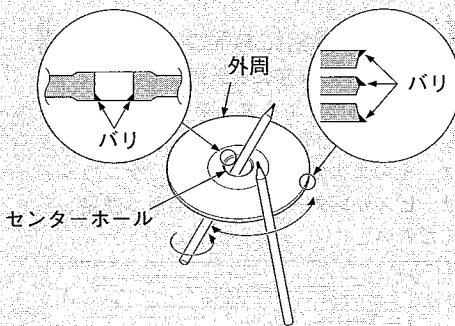
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

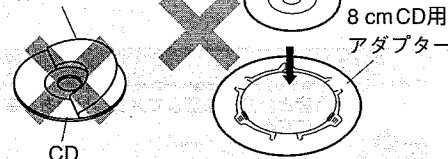
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

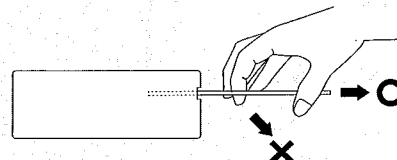
保護シート



CDの取り出しかた

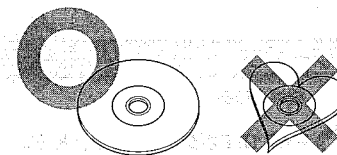
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



このようなCDは使えません

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

Compact Disc Digital Audio (CD-DA) マークの付いているCD以外は使用しないでください。

CD-Rは、使用できない場合があります。

CD-RWは、使用できません。

ラベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。ユニットの故障の原因になるため、ラベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

ALL MODE 共通機能

ALL MODE

パワーオン

電源を入れる

B SRC ボタンを押す。

パワーオフ

電源を切る

B PWR OFF ボタンを1秒以上押す。

ボリューム

音量を調整する

A ▶ 音量を大きくする
へ ボタンを押す。

A ▶ 音量を小さくする
∨ ボタンを押す。

アッテネーター

音量をすばやく小さくする

C ATT ボタンを押す。
アッテネーターがON中はATT インジケーターが点滅します。

C ▶ 元の音量に戻す
ATT ボタンを押す、またはへ ボタンを押す。

A

MEMO ▶ 音量を“00”にすると、アッテネーターは解除されます。

モードチェンジ

聴くメディアを切り替える

B SRC ボタンを押す。
押すたびにモードが以下のように切り替わります。

- TUnE : FM/AM放送を聴くモード (TUNER MODE)
- ▼
- CD : CD演奏を聴くモード (CD MODE)
- ▼
- OFF : 電源がONのまま各機能が停止します。 (ALL OFF MODE)

CDが挿入されていないとCD MODE になりません。

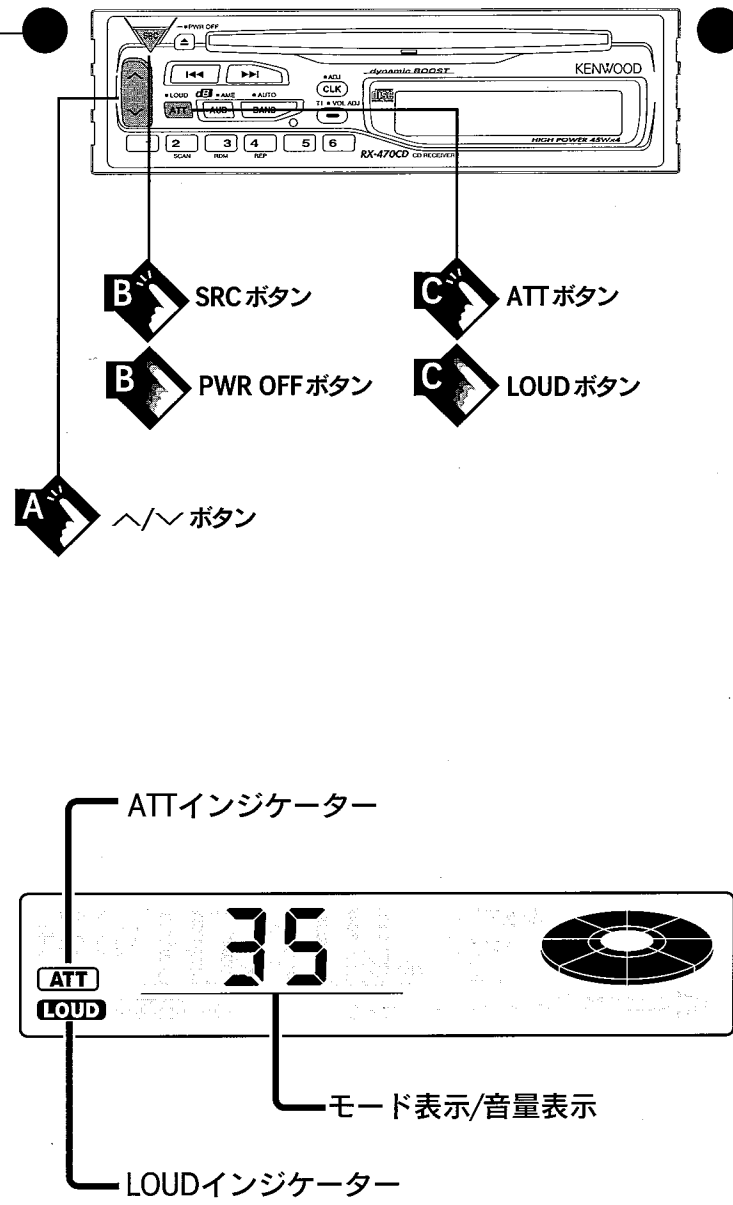
ラウドネス

高音と低音を補正してメリハリのある音質にする

C LOUD ボタンを1秒以上押す。
ラウドネスがONになるとLOUD インジケーターが点灯します。

C ▶ 元の音質に戻す
LOUD ボタンを1秒以上押す。

MEMO ▶ チューナーの音声は低音のみの補正になります。



ALL MODE

ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する

A 1. AUD ボタンを押す。
オーディオコントロールモードになります。

C 2. BAND ボタンを押す。
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。

- dB** : ダイナミックブースト
▼ 選択モード
- BAS** : 低音調整モード
▼ (調整範囲: -8~+8)
- TRE** : 高音調整モード
▼ (調整範囲: -8~+8)
- BL** : 左右音量バランス調整モード
▼ (調整範囲: L[左]15~R[右]15)
- FD** : 前後音量バランス調整モード
▼ (調整範囲: R[後]15~F[前]15)

▶ ダイナミック・ブーストを選択する

B 3. メモリーボタンの1~5のいずれかを押す。

押すボタンによりあらかじめメモリーされている音質が呼び出されます。

- メモリーボタン1: フラット
- メモリーボタン2: ロック
- メモリーボタン3: ポップス
- メモリーボタン4: ジャズ
- メモリーボタン5: イージー

▶ 低音/高音調整、左右/前後バランス調整をする

E 4. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。
それぞれのモードを調整できます。

▶ 解除する

A AUD ボタンを押す。
ソースモードに戻ります。

MEMO ▶ 低音/高音/ダイナミック・ブーストの設定は、CD、FM放送、およびAM放送を聴いているとき、それぞれのモードごとにメモリーします。

時計表示

時刻を表示する

D CLK ボタンを押す。
押すたびに、現在のソースモードの表示と時計表示とが切り替わります。
時計表示時は ● インジケータが点灯します。

MEMO ▶ パワーオフ中は時計表示はしません。

時計調整

時刻を調整する

1. 時計表示にする。

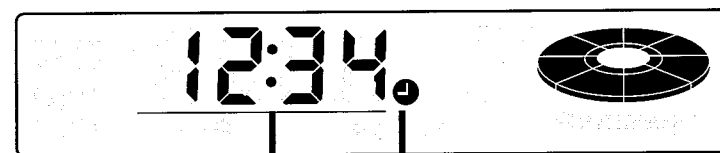
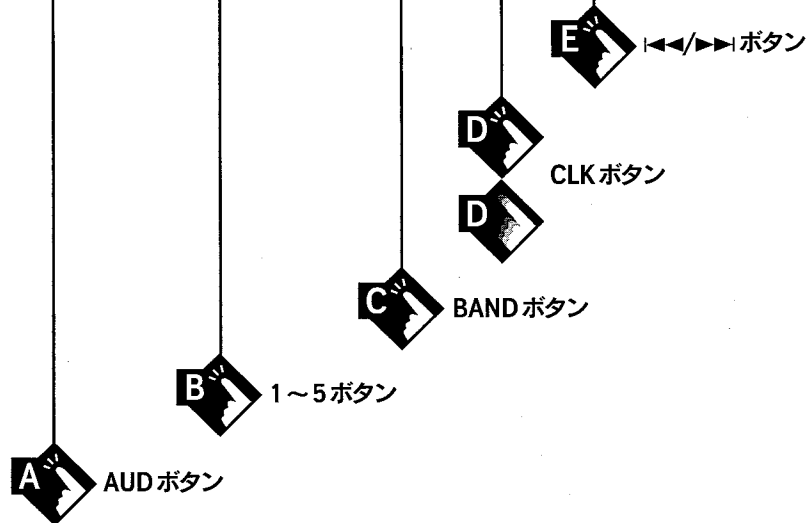
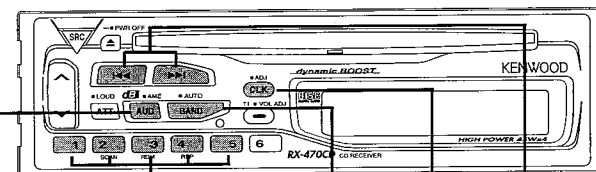
D 2. CLK ボタンを2秒以上押す。
時計調整モードに入り、時計表示が点滅します。

C 3. BAND ボタンと ◀◀▶▶ ボタンを押す。

BAND ボタンで“時間”を調整できます。

◀◀▶▶ ボタンで“分”を調整できます。

D ▶ 終了する
CLK ボタンを押す。



● インジケータ

オーディオ調整モード表示
時計表示

ALL MODE 共通機能

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く



TI ボタンを押す。

交通情報局を受信します。
トラフィックインフォメーションがON
のときは、インジケータが点灯し
ます。



▶ 周波数を変更する

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。
1620kHz、1629kHz、522kHzの周
波数が選択できます。



▶ 解除する

TI ボタンを押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

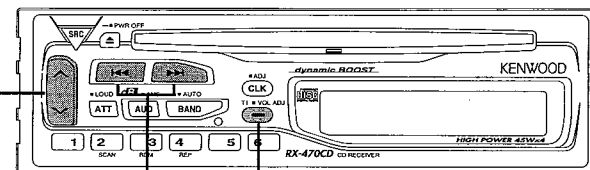
交通情報受信中の音量を設定する



1. トラフィックインフォメーションを
ONにして、設定したい音量にする。



2. VOL ADJ ボタンを2秒以上押す。
設定されると音量表示が1回点滅
します。
次回からトラフィックインフォメ
ーションモードにすると、自動的に、
この設定した音量になります。



TI ボタン



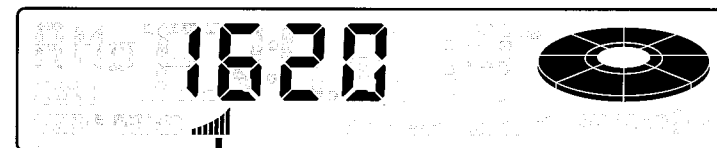
VOL ADJ ボタン



◀/▶ ボタン



∧/∨ ボタン



インジケータ

CD PLAYER MODE

CDプレイ

CDを再生する

▶ CDが入っていないとき
CDのレーベル面を上にして、CD挿入口に差し込む。

▶ CDが入っているとき
(◀▶インジケータ点灯時)
SRCボタンを“CD”と表示されるまで押す。



イジェクト

CDを取り出す

▶ ボタンを押す。



早送り/早戻し

聴きたい演奏か所を選ぶ

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押し続ける。

◀◀ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶▶ボタンを押し続けると先へ早送ります。希望の所で指を離します。



トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
◀◀ボタンを押すと手前の曲になり、▶▶ボタンを押すと先の曲になります。
聴きたい曲のトラックナンバーが表示されるまで押します。



リピートプレイ

同じ曲を繰り返し聴く

▶ REPボタンを押す。
リピートプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ 解除する
REPボタンを押す。



スキャンプレイ

聴きたい曲を探す

▶ SCANボタンを押す。
聴いているCDの各曲の最初の部分が次々に10秒間ずつ再生します。
スキャンプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ 聴きたい曲の再生が始まったら
SCANボタンを押す。
スキャンプレイが解除され、通常のCDプレイになります。



ランダムプレイ

曲をランダムに選択して再生する

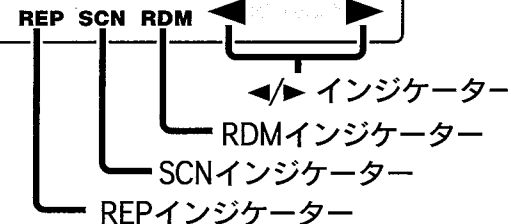
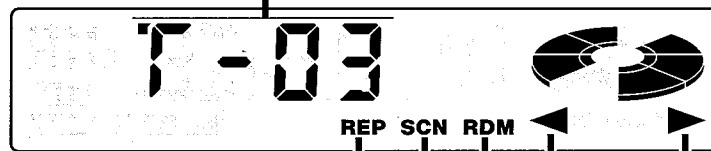
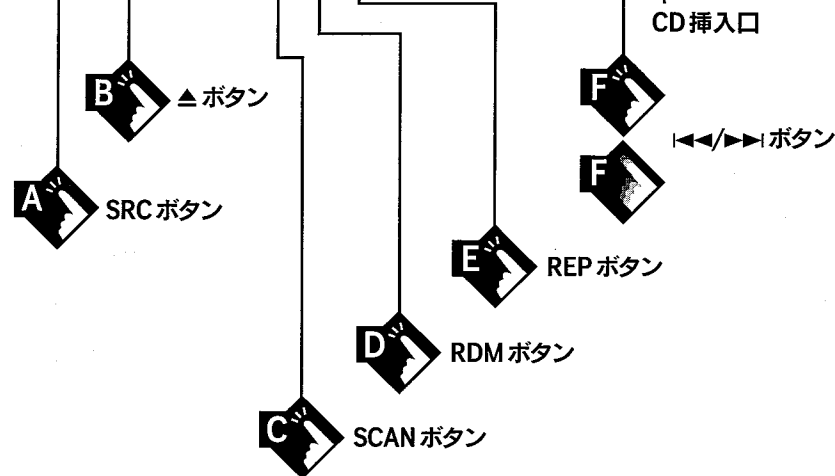
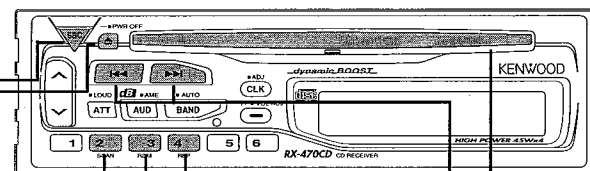
▶ RDMボタンを押す。
ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ ほかの曲を聴く
▶▶ボタンを押す。



▶ 解除する
RDMボタンを押す。



TUNER MODE

チューニング

AM/FM放送を聴く

A チューナーに切り替える
SRCボタンを“TUNe”と表示がされるまで押す。

D バンドを切り替える
BANDボタンを押す。
BANDボタンを押すたびにFMIバンド、FMIIバンド、FMIIIバンド、AMバンドの順に切り替わります。バンド表示に受信しているバンドが表示されます。

E 放送局を替える
◀▶ボタンまたは◀▶ボタンを押す。オートチューニングモード時に◀▶ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶▶ボタンを押すと高い周波数の放送局を探して自動的に受信をします。
マニュアルチューニングモード時に◀▶ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶▶ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

チューニングモード

選局方法を切り替える

D チューニングモードを切り替える
AUTOボタンを1秒以上押す。
AUTOボタンを1秒以上押すたびにオートチューニングモードとマニュアルチューニングモードが切り替わります。
オートチューニングモード中はAUTOインジケータが点灯します。

マニュアルメモリー

放送局をメモリーする

C 周波数をメモリーする
メモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押す。
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーナンバー表示が1回点滅します。
AM、FMI、FMII、およびFMIIIの各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。

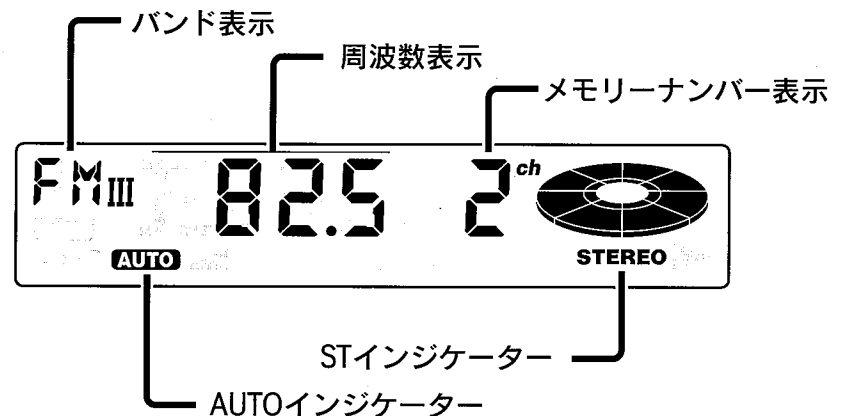
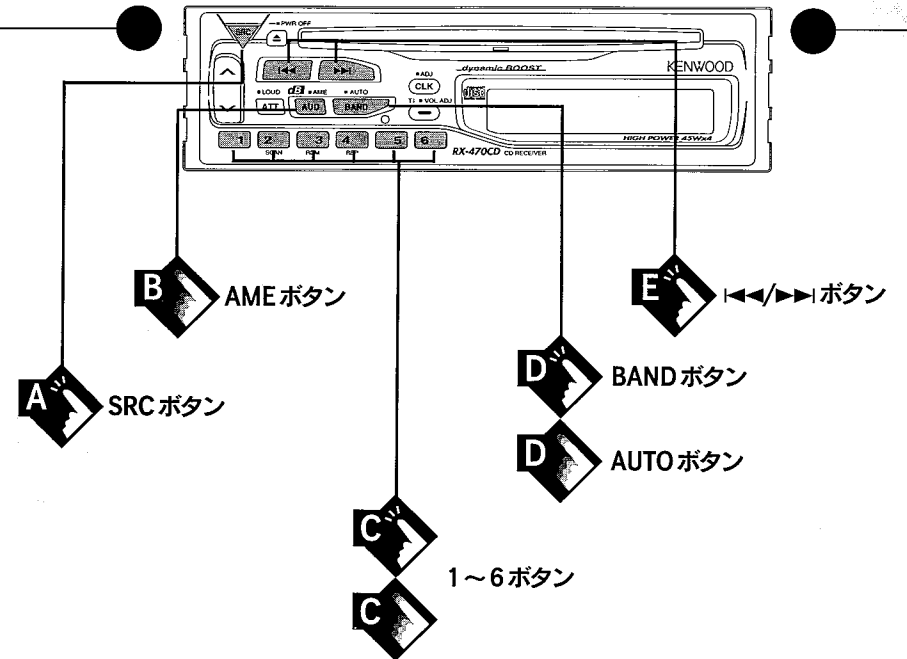
C メモリーした放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

放送局を自動的に探してメモリーする

B オートメモリーを開始する
AMEボタンを2秒以上押す。
オートメモリーが始まり、現在のバンドに6局メモリーするか受信可能な放送局をすべてメモリーするとオートメモリーは終了します。

C メモリーされた放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。



取り付け上のご注意

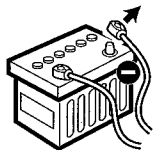
警告



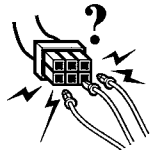
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



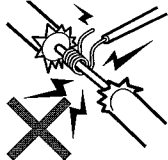
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



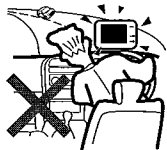
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



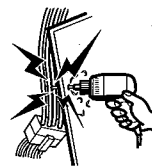
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続のしかた

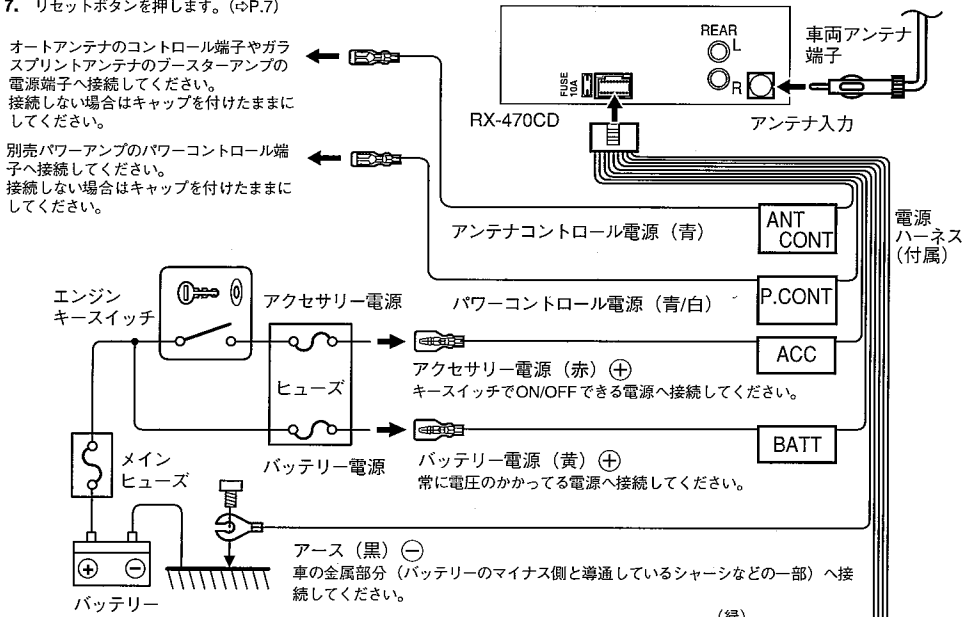
● 接続

取り付け手順

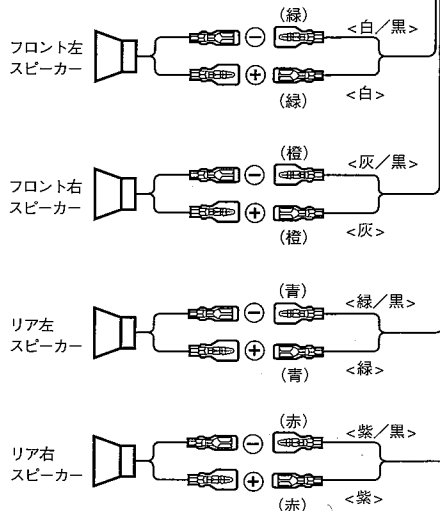
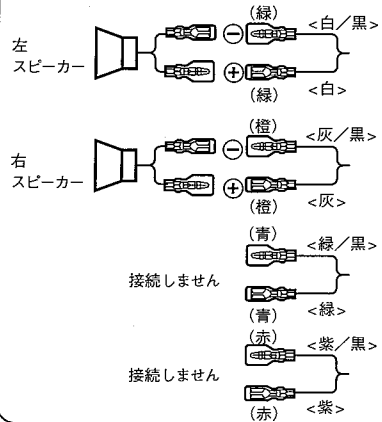
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-470CDに接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. リセットボタンを押します。(P.7)

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

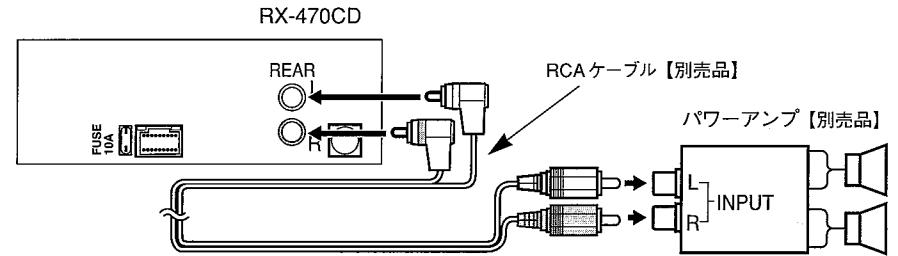


2スピーカー時のスピーカー接続方法



● プリアウト端子の接続

別売のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。



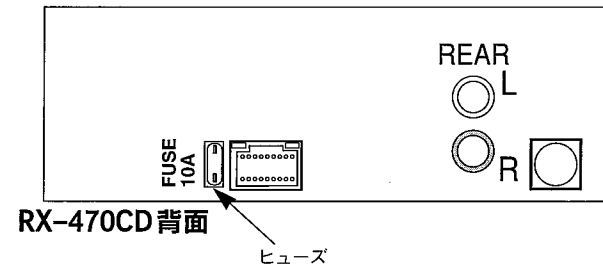
プリアウト端子からは、操作確認音(ヒープ音)は出力されません。

● ヒューズ交換のしかた



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



取り付けかた

付属のネジ (M5 × 6 mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



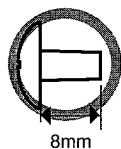
注意

●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

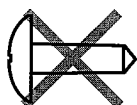
付属以外の長いネジを使用すると本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

●取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトをおこなってください。

付属の取付ネジ

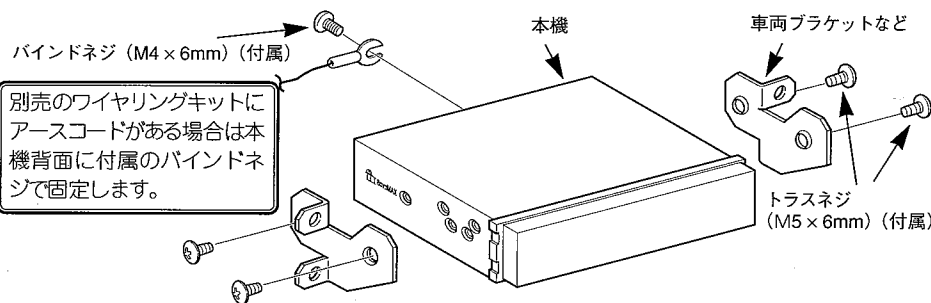


その他のネジ



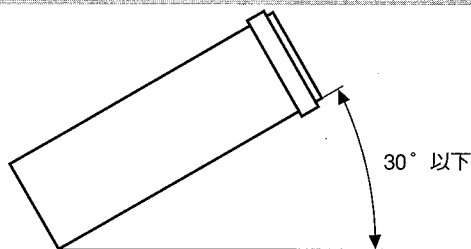
付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm) …………… 4
	バインドネジ (M4 × 6mm) …………… 1



注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき

どうして

こうします

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っって接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 "接続のしかた(⇒P.22)"を見て正しく接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターがONになっている。 音量が最小になっている。 フェーダー、バランスが片側に片寄せた設定になっている。 スピーカーコードが間違っって接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェーダー、バランスを調整してください。 "接続のしかた(⇒P.22)"を見て正しく接続してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。⇒P.7
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続のしかた(⇒P.22)"を見てアンテナコントロール電源を接続してください。
CDが入らない	すでにCDが入っている。	すでに入っているCDを取り出してから入れてください。
CDを入れてもすぐ出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラベル面を上にして入れなおしてください。 "CDのお手入れ(⇒P.8)"を見てクリーニングしてみてください。 しばらく、放置してから使用してください。⇒P.7
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えている。 取り付けが不安定になっている。 CDに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。"CDのお手入れ(⇒P.8)"を見てクリーニングしてみてください。
音質が悪い(再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質。 CDに傷や汚れなどがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。 "CDのお手入れ(⇒P.8)"を見てクリーニングしてみてください。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。⇒P.16
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	"接続のしかた(⇒P.22)"を見て正しく接続してください。

故障かな?と思ったら

- 以下の表示で本機の状態をお知らせします。

以下の表示で システムの状態をお知らせします。

- E-99** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- HOLd** : 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス

よくお読みください

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。